

プログラム ■ 7月11日(土)

第1会場（長野）

一般演題 1 療法選択・意思決定支援 1

9:10～9:40

座長：高野公輔（明治学院大学 心理学部心理学科）
上條祐司（信州大学医学部附属病院 腎臓内科）

O-01 家族との対立を経て腎代替療法見合わせに至った一例から考える共同意思決定の重要性
中川洋佑（東海大学医学部 腎内分泌代謝内科学）

O-02 中毒により搬送され一切の治療を拒否した透析患者に対し、多職種による協議を経て治療方針を決定した一例
廣瀬公仁（千葉大学医学部附属病院 人工腎臓部）

O-03 急性期病院における事前指示書活用の現状と患者の思い
高尾美香（地方独立行政法人 総合病院 国保旭中央病院）

一般演題 2 精神疾患の合併 1

9:40～10:20

座長：大内雄太（青空クリニック 精神科）
浅沼悦子（リタリス・ヘルスケアクリニック 内科・心療内科）

O-04 精神疾患を有する方の腎代替療法：主に血液透析に関する現状と課題
田中裕記（国立研究開発法人 国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所 地域精神・法制度研究部/独立行政法人国立病院機構 九州医療センター 精神神経科/合併精神センター）

O-05 血液透析を導入した慢性腎臓病を有する成人ダウン症候群の1例
鬼塚史朗（みはま病院）

O-06 うつを伴う血液透析患者に対する多職種協働ケア：抑うつ重症度カテゴリーとQOLの変化
高野公輔（明治学院大学心理学部心理学科/東京女子医科大学医学部精神医学講座）

O-07 穿刺困難と統合失調症のある血液透析患者及び家族との関わり
池田 京（（医）明生会 三橋明生病院）

シンポジウム 1

10:30～12:00

腎不全患者における緩和ケア

座長：酒井 謙（東邦大学医学部 腎臓学講座）
大武陽一（たけお内科クリニック からだと心の診療所）

演者：腎不全患者の症状緩和のためのケアに関する取組について
藤村実穂（厚生労働省 健康・生活衛生局 がん・疾病対策課）

日本緩和医療学会の立場から

大武陽一（たけお内科クリニック からだと心の診療所/西淀病院）

日本透析医学会としての立ち位置～末期腎不全患者の緩和ケアに関する提言～

酒井 謙（東邦大学医学部 腎臓学講座）

在宅医療における緩和ケアと緩和的腹膜透析

高木 暢（医療法人社団家族の森 多摩ファミリークリニック）

CKM 説明の適格時期とは～患者さんの声から～

雁瀬美佐（NPO 法人 腎臓サポート協会）

【企画のねらい】

関係3学会による緩和ケアガイドランスが2025年9月に発表された。CKMを含む、腎不全の緩和ケアは、国も後押しをして、その進捗が明らかになってきた。サイコネフロロジー学会では、この問題に特に注力しており、療法選択、緩和透析、法的問題、KSC、CKMに取り組んでいる。その一端を討議する。

ランチョンセミナー 1

12:10～13:10

座長：大崎慎一（社会医療法人社団 新都市医療研究会君津会
総合腎臓病センター/玄々堂じんクリニック/玄々堂君津病院）

演者：ガイドライン改訂から読み解く！これからのCKD-MBD 管理

駒場大峰（東海大学医学部 内科学系腎内分泌代謝内科学）

共催：協和キリン株式会社

特別講演 1

13:20～14:20

座長：佐藤純彦（医療法人社団クレド さとうクリニック）

演者：サービスからホスピタリティへ～人と組織が輝く原点とは～

高野 登（人とホスピタリティ研究所 代表）

シンポジウム 2

14:30～15:30

VA 関連手術とヒューマンケア

座長：室谷典義（医療法人社団明生会 三橋明生病院 バスキュラーアクセスセンター）
小川智也（埼玉医科大学総合医療センター 腎・高血圧内科学/血液浄化センター）

演者：患者さんに寄り添った透析用血管アクセス治療

中村順一（天満中村クリニック）

プログラム ■7月11日(土)

VA 作製医が担うヒューマンケアの実際と多職種連携による質の向上

佐藤 暢 (桃仁会病院 バスキュラーアクセスセンター)

吉祥寺あさひ病院における VA 関連手術とヒューマンケア

野口智永 (吉祥寺あさひ病院 バスキュラーアクセスセンター)

VAIVT におけるヒューマンケア

若林正則 (望星第一クリニック)

【企画のねらい】

高齢化や糖尿病、認知機能低下、精神心理的問題を抱える透析患者の増加により、身体的リスクだけでなく心理社会的背景を踏まえた患者支援が不可欠となっている。VAIVT を含むバスキュラーアクセス関連手術に携わる医療スタッフが、手術手技や合併症対策と同時に患者の不安や疼痛・生活上の制約などにどう寄り添うかという「ヒューマンケア」の観点を共有し、多職種連携のあり方や患者の QOL 向上、心理的安定などに寄与することを目的とする。

スポンサードセミナー 1

15:40 ~ 16:40

座長：浅沼克彦 (千葉大学大学院医学研究院 腎臓内科学)

演者：透析医療における癒しと笑い

伊藤孝史 (帝京大学ちば総合医療センター 腎臓内科)

共催：日機装株式会社

特別講演 2

16:50 ~ 17:50

座長：佐藤純彦 (医療法人社団クレド さとうクリニック)

演者：安心—あんじん—

大西英玄 (音羽山 清水寺)

第 37 回日本サイコネフロロジー学会学術集会・総会/ 第 35 回日本腎不全外科研究会学術集会 合同企画

18:00 ~ 19:10

異種移植の現状とサイコネフロロジー

座長：吉田一成 (医療法人社団麗星会 恵比寿ガーデンクリニック/北里大学医学部 泌尿器科学)

米田龍生 (奈良県立医科大学 泌尿器科・透析部)

演者：異種移植の国際動向をふまえた日本での取り組み

佐原寿史 (鹿児島大学 先端科学研究推進センター 生命科学動物実験ユニット 大動物研究推進部門)

異種移植への不安にこたえる—ブタ腎移植の臨床応用における心理的課題と展望

大武陽一 (たけお内科クリニック からだと心の診療所/西淀病院)

患者さんの異種移植への不安と期待

雁瀬美佐 (NPO 法人 腎臓サポート協会)

【企画のねらい】

異種移植は米国にて、ヒトへの応用がすすみ臨床例も報告されるようになった。研究自体は、長い歴史があるが、現実化して行く中でその期待と不安が交錯する。とくに今回は、基調講演に続き、患者視点からこの期待と不安を報告いただき、その不安にどのように対処するか、議論する。

プログラム ■ 7月11日(土)

第2会場 (桜)

一般演題3 患者/家族支援 1

9:10～9:40

座長：小川智也（埼玉医科大学総合医療センター 腎・高血圧内科学/血液浄化センター）

由井淑子（社会医療法人財団石心会 川崎クリニック 看護部）

O-08 VA 外来の開設で見えてきた高齢透析患者と家族の心理的負担

—入院加療が果たす心理的・社会的支援の役割—

関口紗千（船橋二和病院）

O-09 医療現場におけるハラスメントに対する看護職の在り方

～難渋する患者対応から見えた看護対応について～

入佐敦子（つるみ駅前腎クリニック/生麦駅前腎クリニック）

O-10 透析導入期患者の怒りの表出と喪失体験の理解

中村梨紗（医療法人埼玉会 埼玉草加病院）

一般演題4 患者/家族支援 2

9:40～10:20

座長：西村勝治（医療法人寛裕会 浜野ホスピタル）

鈴木利彦（東京ベイ・浦安市川医療センター 腎臓・内分泌・糖尿病内科）

O-11 維持血液透析患者における就労可能感と QOL・生命予後との関連

吉田規人（東邦大学医療センター 佐倉病院 腎臓学講座/誠仁会みはまグループ）

O-12 維持透析を受ける患者が看護師に求める支援

踊場ちえみ（富山赤十字病院）

O-13 透析中に激昂を示した維持期血液透析患者様の感情表現理解

—怒りの二次感情と心理的防衛に着目して—

大森大輔（医療法人開生会奥田クリニック）

O-14 断酒困難な透析患者における睡眠薬調整と出口戦略

～リエゾンカンファレンスと服薬計画表の活用～

原 有香（医療法人埼玉会 埼玉草加病院）

委員会企画 1 (臨床研究推進委員会)

10:30 ~ 12:00

現場における臨床研究の手引き

座長：政金生人 (医療法人社団清永会 矢吹病院 腎臓内科)

星野純一 (東京女子医科大学 腎臓内科)

パネリスト：三上聡司 (社会医療法人三上会 東香里病院)

大橋綾子 (九州大学病院 精神科神経科)

種田美和 (医療法人社団大誠会)

中村菜々子 (中央大学文学部 心理学専攻)

演者：実例から学ぶサイコネフロロジー：着眼点（フレーミング）と手法で理解する臨床研究デザイン

栗田宜明 (東海大学医学部 基盤診療学系衛生学公衆衛生学/福島県立医科大学大学院医学研究科 臨床疫学分野)

【企画のねらい】

サイコネフロロジー領域の臨床研究はとても難しそう。臨床研究倫理の問題、とくにプライバシー保護は？そもそも一般臨床の場で臨床研究は必要なの？サイコネフロロジー領域の臨床研究について、みんなが抱えるギモンをざっくりばらんに語り合しましょう。

ランチョンセミナー 2

12:10 ~ 13:10

座長：徳山博文 (国際医療福祉大学市川総合病院 内科)

演者：心腎予後を見据えた CKD 患者のカリウム管理の重要性～パチロマーへの期待～

藤井隆之 (聖隷佐倉市民病院 腎センター)

共催：ゼリア新薬工業株式会社

よくわかるサイコネフロロジー

13:20 ~ 14:20

座長：渡辺俊之 (渡辺医院/高崎西口精神療法研修室)

澤村美海 (医療法人新生会 新生会クリニック 看護部、透析室)

演者：透析現場での統合失調症

三上聡司 (社会医療法人三上会 東香里病院)

患者の怒りへの対応

大橋綾子 (九州大学病院 精神科神経科)

CKD 患者への向精神薬の使い方

鈴木大介 (JA 愛知厚生連海南病院/岐阜薬科大学 地域医療実践薬学研究室)

動機づけ面接

高野公輔 (明治学院大学 心理学部心理学科)

プログラム ■7月11日(土)

教育講演

14:30～15:30

座長：竹内 崇（東京科学大学病院 精神科）

演者：CKD 患者における抑うつ理解と対応

岡 文恵（日本赤十字社医療センター メンタルヘルス科）

身体疾患と不眠障害：透析患者を中心に

志賀浪貴文（埼玉医科大学総合医療センター メンタルクリニック）

合同企画 1

15:40～16:40

穿刺とヒューマンケア

座長：井竹康郎（弘愈会 ひまわりクリニック 透析室）

松岡哲平（医療法人社団大誠会）

演者：穿刺における不安と安心の再設計

—CE が実装したスタッフ・患者双方に寄り添う段階的支援モデル

木船和弥（特定医療法人財団松園会 東葛クリニック病院）

血液透析における穿刺とヒューマンケア—患者の安心感に注目して—

西村清志（重井医学研究所附属病院 血液浄化療法センター 看護部）

マインドフルネスの目線で穿刺を考える～ある新人臨床工学技士の日記から～

前田国見（医療法人社団前田記念会 石神井公園じんクリニック）

共催：日本血液浄化技術学会、日本腎不全看護学会

【企画のねらい】

本ジョイントセッションは、透析医療における「穿刺」という不可欠な医療行為を、技術面のみならず心理的・人間的側面から多角的に検討することを目的とする。穿刺は患者に痛みや不安をもたらす場面であると同時に、スタッフにとって緊張と責任を伴う行為である。医師、看護師、臨床工学技士それぞれの立場から実践を共有し、技術とヒューマンケアの融合、多職種連携による心理的安全性の向上を通じて、患者・医療者双方にとって“やすらぎ”のある透析医療の実現を目指す。

委員会企画 2（編集委員会）

16:50～17:50

投稿歓迎！症例報告のまとめかた

座長：桂川修一（東邦大学医療センター佐倉病院 メンタルヘルスクリニック）

黒田沙織（医療法人社団偕翔会 静岡事業部）

演者：症例論文執筆の経験と苦労 1—症例の選択から投稿まで—

飯田美沙（名古屋市立大学大学院 看護学研究科）

症例論文執筆の経験と苦勞 2 投稿から査読を通して

井上敦子（東京女子医科大学医学部 精神医学）

症例論文の書きかたと留意点 編集委員会から

桂川修一（東邦大学医療センター佐倉病院 メンタルヘルスクリニック）

【企画のねらい】

編集委員会では多くの会員からの投稿を歓迎していますが、学会報告はしたものの論文にするのをためらう会員がおいでではないかと想像しています。学会誌は論文の形式を原著、総説、症例報告、実践報告、寄稿に分けて投稿を募集しています。今回は比較的執筆がしやすい症例報告のまとめかたについて、編集委員と投稿者の相互の立場から発表することとしました。経験した症例を論文化したいとお考えのかたはぜひ参加して執筆にお役立てください。

シンポジウム 3

18:00～19:00

音楽療法～自分らしくいるために、支えの選択肢として～

座長：久松春子（東京女子医科大学病院 神経精神科）

日高寿美（湘南鎌倉総合病院 腎臓病総合医療センター）

演者：精神科の音楽療法—変化が生じるときの共感や理解—

久松春子（東京女子医科大学病院 神経精神科）

音楽療法～自分らしくいるために、支えの選択肢として～：高齢者施設における実践から

熊谷知博（湘南鎌倉総合病院 総合診療科）

血液透析患者に対する侵襲的処置・治療における音の効果：音楽、自然音を含め

新宅究典（（医）光仁会 フェニックスクリニック/（特医）あかね会 土谷総合病院 腎・血液浄化療法科）

【企画のねらい】

音楽療法は医療・福祉・教育などの現場で、健常者から重度障害者まで幅広く実施されている。「生活の質の向上」を目的とし、身体機能の維持や改善、こころのケア、認知症の症状緩和、介護予防、発達や学習の支援、疼痛緩和、コミュニケーション促進など多面的効果を持つ。本シンポジウムは透析患者や腎移植患者、またスタッフへの支援として音楽療法の新しい役割や可能性を考え、更なる応用、発展への寄与を目的とする。

プログラム ■ 7月11日(土)

第3会場 (つつじ)

一般演題 5 最新課題、他 1

9:10 ~ 9:40

座長：種田美和（医療法人社団大誠会）

安部貴之（東京女子医科大学 臨床工学部）

O-15 音楽療法（歌唱活動）による透析患者の運動参加促進

入谷麻祐子（医療法人援腎会 あさか野泌尿器透析クリニック）

O-16 維持血液透析患者における透析後回復時間（Dialysis Recovery Time：DRT）と抑うつ傾向の関連についての検討

伊藤あづみ（医療法人社団クレド さとうクリニック）

O-17 コラーゲンペプチド・ビタミン・微量元素配合飲料の摂取が透析患者の身体的 QOL に与える影響

大釜健広（医療法人社団クレド さとうクリニック）

一般演題 6 スタッフのメンタルヘルス 1

9:40 ~ 10:20

座長：鈴木一裕（援腎会すずきクリニック）

齋藤 卓（医療法人刀水会 齋藤記念病院 内科・理事長）

O-18 植込型補助人工心臓（VAD）患者の透析導入支援における心理的経験 ースタッフ調査と患者インタビューからー

高田佳世（東京女子医科大学 臨床工学部）

O-19 改正労働施策総合推進法（いわゆるカスハラ防止法）が公布され、我々の対応はどう変わったのか

友廣忠寿（医療法人社団 登戸クリニック）

O-20 透析室職員におけるメンタルヘルスおよびワーク・エンゲイジメントに関するアンケート

三浦則子（医療法人社団クレド さとうクリニック）

O-21 析室における臨床工学技士の経験年数別ストレスの特徴とその変化

宮尾亜矢子（東京女子医科大学病院 臨床工学部）

一般演題 7 高齢者・認知症 1

10:20 ~ 10:50

座長：岡 文恵（日本赤十字社医療センター メンタルヘルス科）

丹野志保（社会医療法人社団新都市医療研究会「君津」会 玄々堂君津病院 総合腎臓病センター）

O-22 老人保健施設で生活する透析患者の心のやすらぎと看護支援の検討

中村千晴（医療法人慈修会上田腎臓クリニック 介護老人保健施設ほのぼの）

O-23 高齢透析患者の自尊感情を大切に関わった内服支援

中村智恵実 (医療法人社団クレド さとうクリニック)

O-24 認知症のある患者との関わり～共感的な関りが認知症患者に与える効果について～

山本志穂理 (前田記念腎研究所 茂原クリニック)

一般演題 8 療法選択・意思決定支援 2

10:50～11:20

座長：松岡哲平 (医療法人社団大誠会)

赤津サトミ (伊那中央病院 腎臓内科外来)

O-25 末期腎不全期にある 30 歳代女性のライフストーリーその 1—腎移植待機とライフイベントとの関連性—

上原奈美 (川口市立医療センター)

O-26 HHD の選択が就労継続と心理的安定に与えた影響

松本卓也 (医療法人 祥大輝会 おばら内科腎クリニック分院 臨床工学部)

O-27 腹膜透析患者における病気認知と疲労の関連

種本陽子 (聖路加国際病院 心療内科)

一般演題 9 療法選択・意思決定支援 3

11:20～11:50

座長：船越 哲 (医療法人衆和会 長崎腎病院 内科)

鈴鹿ゆかり (医療法人社団善仁会 教育・研究支援部)

O-28 維持透析患者におけるヘルスリテラシーとアドバンスケアプランニングの関連

鈴木 智 (亀田総合病院 腎臓高血圧内科/福島県立医科大学 大学院医学研究科 臨床疫学分野)

O-29 事前指示書の導入～患者・家族はどう感じたか～

坂井晴美 (医療法人社団明生会 東葉クリニック大綱)

O-30 透析を中止し緩和ケアに入りたいと希望した患者との ACP を振り返る

角田美貴 (地方独立行政法人 総合病院 国保旭中央病院)

野原記念賞候補

13:20～14:50

座長：杉谷 篤 (同愛会・博愛病院 腎臓外科)

船越 哲 (医療法人衆和会 長崎腎病院 内科)

P-01 血液透析選択理由と透析導入時期の関係

井上國彰 (奈良県立医科大学 泌尿器科)

P-02 透析を離脱し死を選択した患者への関わり—死を望む透析患者への意思決定支援を通して—

倉林幸子 (鴻愛会 こうのす共生病院 血液浄化センター)

プログラム ■7月11日(土)

- P-03 **透析拒否から腹膜透析導入に至った高齢患者の一例**
大内治紀（三井記念病院 腎臓内科）
- P-04 **患者中心で行う福生病院式腎代替療法意思決定支援と保存的腎臓療法選択症例への実践**
植木博子（公立福生病院 腎臓病総合医療センター/公立福生病院 看護部）
- P-05 **医療空間の違いが透析患者の精神症状の表出に与える影響**
千手陽一郎（医療法人社団アイデアル ファミリア透析クリニック北綾瀬駅前）
- P-06 **摂食障害による末期腎不全の一例**
刑部有紀（高知大学医学部内分泌代謝・腎臓内科学）
- P-07 **急激なフレイル進行のある高齢患者と家族への関わりー臨床倫理検討シートを使用してー**
牧野絵理子（社会医療法人名古屋記念財団 東海知多クリニック）
- P-08 **高齢透析患者における Well-being の可視化～RAM に基づく構造的理解と介入の検討～**
真壁志帆（東京女子医科大学 腎臓内科/わかやま透析クリニック中野南台）
- P-09 **透析患者の療養意欲に寄与する因子と看護介入の検討**
土屋友紀（船橋二和病院 透析センター）
- P-10 **苦痛であった透析が、来院することが楽しみに変化した要因の一考察**
水野和枝（（医）偕峰会駒ヶ根共立クリニック）
- P-11 **透析中の運動により表情が豊かになった 1 例**
木村 拓（医療法人勝久会地ノ森クリニック看護課）
- P-12 **当院の緊急血液透析導入患者の透析の心理的受容に関連した訴えと看護の実態調査**
鈴木香奈（東京大学医学部附属病院 看護部）
- P-13 **透析導入に葛藤があった高齢患者への生活指導を通した心理的介入**
寺尾真優（公立豊岡病院組合立豊岡病院）
- P-14 **透析を契機とした死の意識と時間軸の再編ー一生の方向づけを再定位する二事例研究ー**
飛松 聡（昭和学院短期大学ヘルスケア栄養学科）
- P-15 **愛 Hope ノートを用いた Advance care planning 啓発活動の評価
～患者アンケート結果の比較から～**
武田奈穂（医）清永会 矢吹病院 地域医療連携室）
- P-16 **当院におけるタスクシフトの実施と心理的安全性への影響**
細谷大輔（船橋二和病院透析センター）
- P-17 **ペイシェントハラスメント啓発ポスターを使用した働きやすい環境作りのための取り組み**
清藤佑馬（医療法人社団プログレス四日市消化器病センター）
- P-18 **透析導入期患者との関わりにおける医療者の陰性感情に着目した振り返り**
樋口 愛（聖マリアンナ医科大学病院 看護部/聖マリアンナ医科大学 腎臓・高血圧内科）
- P-19 **当院の腎臓病看護に携わる看護師のワークエンゲージメントに関する調査**
浜崎敬文（東京大学医学部附属病院 血液浄化療法部）

- P-20 **透析導入後の施設移行期における心理的適応とサテライト施設の役割**
志田和也（医療法人社団星晶会星優クリニック看護部）
- P-21 **向精神薬の副作用で好中球減少が起こったが、炭酸リチウムを併用したことで抗うつ薬を安全に使えた一例**
冨吉研策（京大精神科専門研修プログラム 精神科専攻医）
- P-22 **腎不全患者のスピリチュアルペインに関する 看護師の認識と今後の課題**
片山満代（社会福祉法人ワゲン福祉会 総合相模更生病院 血液浄化センター）
- P-23 **漫画『HOTEL』を用いた臨床工学学生のホスピタリティ教育—職業への誇りと責任意識の形成—**
廣田美和（森ノ宮医療大学 医療技術学部 臨床工学科）
- P-24 **透析患者に届ける一皿のおもてなし—漫画『江戸前の旬』による Graphic Medicine 教育—**
河辺咲音（森ノ宮医療大学 医療技術学部 臨床工学科）
- P-25 **血液透析におけるリスク認知二因子構造の乖離と教育的活用—サイコネフロロジーの視点から—**
辻 義弘（森ノ宮医療大学 医療技術学部 臨床工学科）
- P-26 **血液透析患者における睡眠薬処方の実態と個人内での経時的変化**
須藤ゆきな（東北大学大学院医学系研究科 腎臓内科学分野）
- P-27 **航空安全に学ぶ総合評価実習における接遇教育—Script training と意図的練習の導入—**
保田真希（森ノ宮医療大学 医療技術学部 臨床工学科）

スポンサードセミナー 2

15 : 40 ~ 16 : 40

透析処方とヒューマンケア

座長：政金生人（医療法人社団清永会 矢吹病院）

演者：オーバービュー

政金生人（医療法人社団清永会 矢吹病院）

患者の栄養状態に配慮した透析処方

浦邊俊一郎（順天堂大学 医療科学部）

共催：東レ・メディカル株式会社

プログラム ■7月11日(土)

一般演題 10 スタッフのメンタルヘルス 2

16:50～17:30

座長：岡山ミサ子（オフィスJOC）

森 吉寛（医療法人彩の森 彩の森草加クリニック）

0-31 「変えられること/変えられないこと」の視点を用いた介入が、スタッフのメンタルヘルスに与える影響

高橋 朗（順生会脳神経外科病院 透析センター）

0-32 人工透析室における接遇研修に取り組んで～透析患者とのコミュニケーション・関わりについて考える～

藤野陽子（公益社団法人地域医療振興協会 公立丹南病院 看護部 人工透析室）

0-33 透析医療における看護師バーンアウトの心理構造～脱人格化を中心とした職業発達と心理的防衛の検討

山内しのぶ（（医）衆和会 長崎腎病院）

0-34 透析室業務における臨床工学技士のストレス要因および業務魅力の検討

伊藤翔音（東京女子医科大学病院 臨床工学部）

一般演題 11 療法選択・意思決定支援 4

17:30～18:00

座長：金山由紀（埼玉医科大学総合医療センター 臨床工学部）

伊東 稔（矢吹病院 腎臓内科）

0-35 透析患者の事前指示書は急変時の意思を反映するか～呼吸器装着症例からみた心理的・倫理的検討

篠原 薫（（医）衆和会 長崎腎病院）

0-36 PD から HD に移行した方の話を聴く一療法選択を考える材料として一

浅田博章（医療法人博鵬会 むつみ内科）

0-37 生活の自由度向上を目的に CAPD へ移行した患者における心理状態と生活様式の変化

柿崎美里（（医）友秀会 伊丹腎クリニック）

一般演題 12 精神疾患の合併 2

18:00～18:30

座長：渡辺俊之（渡辺医院/高崎西口精神療法研修室）

今西伸子（医療法人柏友会 柏友クリニック 看護部）

0-38 精神心理的課題を有する透析症例への早期第三者介入～治療環境と治療関係の保護～

船越 哲（（医）衆和会 長崎腎病院）

0-39 慢性腎臓病患者の身体症状を伴う不眠に対する漢方薬の有効例

畝田一司（福島県立医科大学会津医療センター 漢方医学講座）

- O-40 精神神経科疾患合併症例における、腎代替療法選択支援を経て CKM を実践した症例
二木功治 (国家公務員共済組合連合会 立川病院 腎臓内科)

一般演題 13 高齢者・認知症 2

18:30 ~ 19:10

座長：小林清香 (埼玉医科大学総合医療センター)

大橋 靖 (東邦大学医療センター佐倉病院 腎臓学講座)

- O-41 暴言や危険行動のある独居高齢認知症患者への看護支援
～その人らしさを大切にするとともに歩む～

加藤直美 (医療法人葵 葵セントラル病院)

- O-42 演題取り下げ

- O-43 演題取り下げ

- O-44 急激な認知機能低下を来した透析患者の意思決定支援—思いに寄り添う中で生じた葛藤—
上原千尋 (おもて内科糖尿病クリニック)